

2025年10-12月期四半期別GDP速報（1次QE）公表に際しての  
城内経済財政政策担当大臣談話

2026年2月16日（月）

1. 本日公表の2025年10-12月期GDP1次速報値では、名目成長率は、前期比プラス0.6%、実質成長率は、プラス0.1%と、ともに2四半期ぶりにプラスとなった。

実質成長率の内訳を見ると、個人消費が7四半期連続のプラスとなった。また、企業の設備投資と住宅投資も2四半期ぶりにプラスに転じ、内需はプラス成長となった。外需については、輸出のマイナス幅が前期から縮小したこともあり、おおむね横ばいとなった。

2. 景気は緩やかな回復が続いており、先行きについても、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される。ただし、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

3. 政府は、「責任ある積極財政」の考え方の下、大胆かつ戦略的な「危機管理投資」と「成長投資」を進めることにより、国民の安全・安心を確保するとともに、雇用と所得を増やし、潜在成長率を引き上げ、「強い経済」を実現する。

（以上）